

# スキル整理表

※ご不明な用語等がございましたら、別紙「デジタル関連用語集」をご参照ください。

導入・運用段階 スキル整理表	※自社の組織に合わせて役割を統合・兼任させながら活用してください		経営・管理部門			事業部門		
			経営企画・管理 (戦略的管理・意思決定)	バックオフィス(管理・事務)	デジタル推進担当	生産・品質・製品企画	調達・物流	営業・販促・サービス提供
			経営企画／経営管理／取締役会事務局／事業・商品企画／ブランド管理／マーケティングリサーチ など	経理・財務／人事・労務／法務・総務／広報・IR／内部統制・コンプライアンス担当 など	情報システム担当(社内SE)／ITインフラ運用／セキュリティ管理／DX推進担当／データ分析担当／Web・SNS運用／業務システム導入・サポート など	製造オペレーター／生産技術／製造ライン管理／品質管理・検査／設備保全・メンテナンス／安全衛生担当／製品開発・設計補助 など	購買・調達担当／仕入れ担当／在庫・倉庫管理／生産計画・工程管理／出荷・配送管理／物流企画／店舗や飲食業での食材・備品調達担当 など	法人営業／ルート営業／企画営業／販売促進／広報・広告宣伝／カスタマーサポート／サービス提供・接客・販売スタッフ／店舗運営／サービス企画・顧客対応リーダー など
サブカテゴリー	スキル項目	スキル・具体例						
想定される職務の変化	活用事例の理解 (運用・応用段階の目的)	自らの業務においてどんなDXが起きているか知っている・語れる	財務状況や需要予測の可視化 生成AI・BIによる経営判断支援 経営データのリアルタイム分析	RPAやクラウド会計による帳票処理の自動化 ワークフロー電子化による業務効率化 デジタル人事システム等による評価・報酬プロセスの自動化・効率化 AIチャットボット等による従業員対応の効率化	業務デジタル化の推進役として 各種ツールの導入・運用 データ分析基盤の整備とガバナンス強化	IoT・センサーによる稼働監視 品質データのリアルタイム分析 設計支援のデジタル化	在庫状況や需要予測を踏まえた仕入・発注の効率化 サービス業における在庫管理(予約枠・リソース管理)の効率化 配送ルートや納期管理の最適化	顧客データを用いたターゲティング営業 SNSやECを活用した販促活動 サービス利用履歴を基にしたパーソナライズ化 AIチャットボットやロボットを活用した接客・サポート
具体的なデータやツール	データ	自らの業務におけるDX化が必要なデータがわかる、必要なデータを想起しアクセスできる	財務・業績データ、統合会計情報、経営KPI	契約書、勤怠・給与・人事データ、電子業績情報	各部門の業務ログ、利用状況データ、システム構成情報	生産・品質データ、稼働率、工程進捗、顧客クレーム情報	原材料調達情報、仕入・発注履歴、在庫データ、配送履歴	顧客属性、購買履歴・サービス利用履歴、Webアクセスログ、顧客満足度調査データ
	ツール利用	右ツールの利用方法を理解し、状況に合わせて適切なツールを選択・利用できる 新しいツールや技術について随時情報を収集し必要に応じて活用できる	BIツール、経営ダッシュボード、生成AI、KPI管理ツール	クラウド会計、電子契約、人事管理、RPA、文書管理システム	ノーコード／ローコードツール、RPA、AI分析ツール、データ統合基盤	生産管理・品質管理システム、3D設計/シミュレーション、稼働分析ソフト	クラウド在庫管理システム、仕入管理システム、需要予測ツール、配送ルート最適化ソフト	CRM、マーケティングオートメーション、SNS分析ツール、サービスアプリ、チャットボット、AI接客ツール
一般従業員	求める人材像		経営方針や施策を理解し、自部門の目標に反映できる。 基礎的な経営指標や市場動向を把握し、資料や会議で説明できる。	会計・人事・総務等のクラウドサービスやワークフローシステムを用い、日常業務を正確に処理できる。 電子契約やRPAを使って定型業務を効率化できる。	部門の業務改善に必要なデジタルツールを選び活用できる。	生産管理や品質管理システムを利用して、データに基づく業務改善に取り組める。 製造工程や品質の数値を理解し、異常や課題を報告できる。	在庫や仕入管理システムを利用し、正確に発注・在庫確認ができる。 調達や配送に関するデータを扱い、日常業務の効率化に貢献できる。	顧客データや販促ツールを活用し、営業活動や接客サービスを行える。 顧客ニーズを理解し、適切に対応できる。
	データ分析・活用	業務に関連するデータを正しく読み取り、内容を説明できる。 データ分析の結果から課題を見出し、業務改善に活かせる	数十件程度のデータを集計し、2～3枚程度の集計レポートやグラフを作成できる。 目的に応じてデータを可視化し、傾向を読み取ることができる。 ニュース記事や業務データの統計情報に接した際、数値やグラフの持つ意味を理解できる。 自らの業務改善に必要な情報をデータから抽出し、簡易な意思決定に活用できる。					
	生成AIの活用	生成AIを用いて文章を作成・要約・検索補助に活用できる。	生成AIを利用して議事録要約、文書の下書き、調査補助を行える。 AIで可能なこと／不向きなことを理解している。 AIの出力結果に対し、領域知識に基づき妥当性を判断できる。 日常業務の効率化に活かすことができる。		社内にて生成AIに関する相談にのることができる	生成AIを利用して議事録要約、文書の下書き、調査補助を行える。 AIで可能なこと／不向きなことを理解している。 AIの出力結果に対し、領域知識に基づき妥当性を判断できる。 日常業務の効率化に活かすことができる。		
	ノーコード・ローコードツール	ノーコード・ローコードツールを用いて簡易アプリを作成できる。	業務に必要なデータ入力・承認フローを、ノーコード・ローコードツールを使って作成できる。 定型業務を効率化するために、既存のテンプレートやアプリを活用できる。 自分の業務改善に役立つ簡易アプリを選定・構築できる。		社内にてノーコード・ローコードツールに関する相談にのることができる	業務に必要なデータ入力・承認フローを、ノーコード・ローコードツールを使って作成できる。 定型業務を効率化するために、既存のテンプレートやアプリを活用できる。 自分の業務改善に役立つ簡易アプリを選定・構築できる。		
	クラウド	クラウドの仕組みを理解し、クラウドができること・できないこと、活用可能性を知っている	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる		社内にてクラウドに関する相談にのることができる	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解できる		
	ハードウェア	コンピューターやタブレット、スマートフォン及び関連デバイスを活用できる。	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる タブレット等のデバイスを用いたを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができる		社内にてハードウェアに関する相談にのることができる	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができる		
	ソフトウェア	各種ソフトウェアや社内システムの仕組みを理解し、使い方を知っている	新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができる		社内にてソフトウェアに関する相談にのることができる	自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用できる		
	ネットワーク	ネットワークやインターネットの仕組みを理解し、使い方を知っている	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる		社内にてネットワークに関する相談にのることができる	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続できる		
	セキュリティ	セキュリティ技術の仕組みと個人がとるべき対策を理解し、安心してデータやデジタル技術を利用できる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけている		社内にてセキュリティに関する相談にのることができる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけている		
	モラル	デジタル時代で求められるモラルを持ち、適切にインターネット上のコミュニケーションやデータ活用ができる	人間関係のトラブルを起こさずにデジタルコミュニケーションができる 捏造・改ざん・盗用などのデータ活用・分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用できる					
コンプライアンス	業務でデータや技術を利用するときに、自身の業務が法規制に照らして問題ないか確認できる	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守できる						

# スキル整理表

※ご不明な用語等がございましたら、別紙「デジタル関連用語集」をご参照ください。

導入・運用段階 スキル整理表	※自社の組織に合わせて役割を統合・兼任させながら活用してください		経営・管理部門			事業部門		
			経営企画・管理 (戦略的管理・意思決定)	バックオフィス(管理・事務)	デジタル推進担当	生産・品質・製品企画	調達・物流	営業・販促・サービス提供
			経営企画／経営管理／取締役会事務局／事業・商品企画／ブランド管理／マーケティングリサーチ など	経理・財務／人事・労務／法務・総務／広報・IR／内部統制・コンプライアンス担当 など	情報システム担当(社内SE)／ITインフラ運用／セキュリティ管理／DX推進担当／データ分析担当／Web・SNS運用／業務システム導入・サポート など	製造オペレーター／生産技術／製造ライン管理／品質管理・検査／設備保全・メンテナンス／安全衛生担当／製品開発・設計補助 など	購買・調達担当／仕入れ担当／在庫・倉庫管理／生産計画・工程管理／出荷・配送管理／物流企画／店舗や飲食業での食材・備品調達担当 など	法人営業／ルート営業／企画営業／販売促進／広報・広告宣伝／カスタマーサポート／サービス提供・接客・販売スタッフ／店舗運営／サービス企画・顧客対応リーダー など
サブカテゴリー	スキル項目	スキル・具体例						
想定される職務の変化	活用事例の理解 (運用・応用段階の目的)	自らの業務においてどんなDXが起きているか知っている・語れる	財務状況や需要予測の可視化 生成AI・BIによる経営判断支援 経営データのリアルタイム分析	RPAやクラウド会計による帳票処理の自動化 ワークフロー電子化による業務効率化 デジタル人事システム等による評価・報酬プロセスの自動化・効率化 AIチャットボット等による従業員対応の効率化	業務デジタル化の推進役として 各種ツールの導入・運用 データ分析基盤の整備とガバナンス強化	IoT・センサーによる稼働監視 品質データのリアルタイム分析 設計支援のデジタル化	在庫状況や需要予測を踏まえた仕入・発注の効率化 サービス業における在庫管理(予約枠・リソース管理)の効率化 配送ルートや納期管理の最適化	顧客データを用いたターゲティング営業 SNSやECを活用した販促活動 サービス利用履歴を基にしたパーソナライズ化 AIチャットボットやロボットを活用した接客・サポート
具体的なデータやツール	データ	自らの業務におけるDX化が必要なデータがわかる、必要なデータを想起しアクセスできる	財務・業績データ、統合会計情報、経営KPI	契約書、勤怠・給与・人事データ、電子業績情報	各部门の業務ログ、利用状況データ、システム構成情報	生産・品質データ、稼働率、工程進捗、顧客クレーム情報	原材料調達情報、仕入・発注履歴、在庫データ、配送履歴	顧客属性、購買履歴・サービス利用履歴、Webアクセスログ、顧客満足度調査データ
	ツール利用	右ツールの利用方法を理解し、状況に合わせて適切なツールを選択・利用できる 新しいツールや技術について随時情報を収集し必要に応じて活用できる	BIツール、経営ダッシュボード、生成AI、KPI管理ツール	クラウド会計、電子契約、人事管理、RPA、文書管理システム	ノーコード/ローコードツール、RPA、AI分析ツール、データ統合基盤	生産管理・品質管理システム、3D設計/シミュレーション、稼働分析ソフト	クラウド在庫管理システム、仕入管理システム、需要予測ツール、配送ルート最適化ソフト	CRM、マーケティングオートメーション、SNS分析ツール、サービスアプリ、チャットボット、AI接客ツール
			Office(Excel, Word, PowerPoint)、ブラウザ、オンライン会議ツール(Zoom, Teams, Webex)、オンラインコミュニケーションツール(Teams, Slack, LineWorks)、仮想ドライブ(GoogleDrive・dropbox)、その他汎用的な新技術やツール					
リーダー・管理職	求める人材像		財務・市場・競合データを踏まえて経営判断に活用できる。 BIツール等を用いた経営指標の分析やシナリオ検討を行い、組織戦略を立案できる。	部署全体の事務プロセスを見直し、システムやツール導入を推進できる。 リスク管理やコンプライアンスを踏まえた標準化を実施できる。	部門横断的なDX施策を企画し、導入・展開を主導できる。 ツール利用ルールやガバナンスを整備し、社内での活用を推進できる。	生産・品質に関するKPIを設定し、システムやIoTデータを用いた改善施策を立案・推進できる。 顧客ニーズを反映した新製品企画をリードできる。	調達・物流のプロセス全体を設計・改善できる。 需要予測や在庫最適化を行い、コスト削減と納期遵守を両立できる。	顧客データを分析し、営業戦略や販促施策を立案・推進できる。 サービス提供の改善を計画し、顧客満足度の向上につなげられる。
	データ分析・活用	データを読む・説明する、データを扱う、データによって診断し、部門の意思決定に活用する。	部門横断的なデータを集計・分析し、詳細な分析レポートを作成し経営判断に活用できる。 BIツール等を活用して指示を出し、組織的なデータ活用を推進できる。 部門における業務改善や経営判断に必要なデータ指標を設定し、適切にモニタリングできる。					
	AI(主に生成AI)	生成AIの特性を理解し、業務への適切な利活用を推進できる。	部門における生成AI活用ルールを策定できる。 利用場面ごとのリスク(誤情報・著作権・個人情報)を理解し、対応指針を示すことができる。 生成AIを活用した業務改善の具体的な事例を把握し、チームに導入を促進できる。	社内にて生成AI、ノーコード・ローコードツールの技術面について全社的な検討・相談をすることができる。 導入に伴うガバナンスやセキュリティ面の留意点を把握し、適切に管理できる。	部門における生成AI活用ルールを策定できる。 利用場面ごとのリスク(誤情報・著作権・個人情報)を理解し、対応指針を示すことができる。 生成AIを活用した業務改善の具体的な事例を把握し、チームに導入を促進できる。			
	ノーコード・ローコードツール	ノーコード・ローコードツールを導入・推進し、業務改善をリードできる。	部門に必要な業務プロセスを整理し、ノーコード・ローコードツールを活用した改善を推進できる。 チーム内で構築されたアプリやワークフローの品質を確認することができる。					
	クラウド	クラウドの仕組みを理解し、クラウドができること・できないこと、活用可能性を知っている	クラウドサービスのメリット・デメリットを理解し、適切なサービスを選定できる	社内にてクラウドの技術面について全社的な検討・相談をすることができる				
	ハードウェア	コンピューターやタブレット、スマートフォン及び関連デバイスを活用できる。	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができ、適切な活用方法について指示を出せる	社内にてハードウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	サーバー、LAN、中継機等の仕組みと役割を理解し、適切な活用を依頼できる タブレットを用いた簡単な操作(動画の再生、ブラウザの利用等)ができ、適切な活用方法について指示を出せる			
	ソフトウェア	各種ソフトウェアや社内システムの仕組みを理解し、部署に必要なツールを選定・導入できる	新規アプリ・ソフトウェアのインストール・アンインストールができ、必要なソフトウェアを選定できる	社内にてソフトウェアの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	自社製造設備や生産管理システム等を適切に活用、選定できる			
	ネットワーク	ネットワークやインターネットの仕組みを理解し、使い方を知っている	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる	社内にてネットワークの技術面について全社的な検討・相談をすることができる	WiFi、無線LAN、VPN等について理解し、適切にネットワークへ接続でき、問題点が生じた際には専門の人材へ相談して解決の方針を判断できる			
	セキュリティ	セキュリティ技術の仕組みと個人がとるべき対策を理解し、安心してデータやデジタル技術を利用できる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる。 データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへ対応できる。 社内にてセキュリティの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる。	社内にてセキュリティについて全社的な検討・相談をすることができる	メール送受信やウイルス対策といった情報セキュリティに関する知識を習得し(e-learning等で着実に理解)、日々の業務で確実に実践できるとともに、組織として対応を検討できる データ、AI、機械学習の意図的な悪用(フェイクニュース、Botの悪用など)があり得ることを勘案し、技術に関する適切な知識と倫理を身につけた上で、組織としてリスクへ対応できる			
	モラル	デジタル時代で求められるモラルを持ち、適切にインターネット上のコミュニケーションやデータ活用ができる	インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる。 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる。 社内にてモラルの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる。	インターネットコミュニケーションツールに伴う人間関係のトラブルを理解し、解決することができる。 捏造・改ざん・盗用などのデータ分析における禁止事項を知り、適切にデータを利用しているか、組織的な判断を指示できる。				
コンプライアンス	業務でデータや技術を利用するときに、自身の業務が法規制に照らして問題ないか確認できる	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる。 社内にてコンプライアンスの非技術的側面について全社的な検討・相談をすることができる。	プライバシー・知的財産権・著作権の示すものや、その保護のための法律、諸外国におけるデータ規制等について知り、遵守するとともに、組織的に遵守することができる					
その他	DX推進人材としての役割の一部を担うことができる	リーダー・管理職として、基礎的なデジタル技術の活用のみならず、他者を巻き込み部署や全社でDXを推進するための役割を担うことができる						